

目次

■ 図書館トピックス	… P2
■ 館蔵資料紹介「加江田村図」、 「佐土原藩領図」	… P3
■ 新着図書案内	… P4

※緑陰通信は県立図書館のホームページ
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.jp/>)からもご覧いただけます。

♪ 緑陰コンサート「レコードコンサート」

県立図書館では県民の皆様にご貴重な視聴覚資料についての関心と理解を深めていただくためのレコードコンサートを開催しています。今年度は8月に「夏のレコードコンサート」、12月に「冬のレコードコンサート」を開催しました。そして、3月に「春のレコードコンサート」を開催する予定です。

レコードの魅力をお伝えするには知識や技能が必要です。そこで、ボランティア組織「宮崎レコード音楽愛好会（代表：田中達也氏）」の皆様にご協力いただき、選曲、解説、機材の提供を受け、よりよい状態でレコードの音に触れていただけるようにしています。

今年度は『県立図書館コレクション 名曲の数々』を掲げ、当館所蔵レコードの中から選曲を行っています。また、1曲当たりの時間についても長大なものは避け、なるべく多くの楽曲に親しんでいただけるようにしています。

また、コンサートは2階の研修ホールで開催するため大音量を出すことができ、愛好会提供の真空管アンプや大型スピーカーから出る音の厚みや迫力などもお楽しみいただけます。

さらに、開始前や休憩中には愛好会の皆様のレコード（ポップスやジャズ等）をかけたり、真空管アンプやスピーカー、レコードに関する質問に愛好会の方々が答えるなど、あまり堅苦しくならないように工夫をしています。

～参加者の声（アンケートから）～

「もう50年も前の高校時代、県立図書館のレコードコンサートに通い、クラシック音楽が好きになりました。そのような出会いの場になれば素晴らしいです。」

「曲目、演奏者などこだわりが感じられるセレクトで、音色、テクニック、レコードならではの温もりに感動いたしました。」

「若き時代に薄暗い音楽喫茶でコーヒー一杯でねばりながら聴いたのを思い出しました。目を閉じれば生きた演者がいるような気さえます。CDのような人工的な透明感はありませんが、それだけ自然に近いです。“第九”もすばらしかったです。あたかもステージで自分が一緒にうたっているような不思議な感覚でした。」

「すばらしいの一言。レコード独特のスクラッチノイズもたまらない。家ではモダンジャズを聴いているが、クラシックもすばらしい。真空管アンプ、JBL、タンノイ、スピーカーも楽しめた。」

ご来場いただきました方々はシニア世代の方が大多数ですが、中には小さなお子さん連れのご家族や高校生グループの姿もあり、若い世代の方々にとっては「新しい音」であるレコードに可能性を感じています。また、ご来場の皆様から聴きたいジャンル等の様々なご提案もいただいています。今後も、皆様のご要望にお応えしつつ、さらにレコードのよさについて普及に努めていきたいと思っています。是非、お気軽にお越しください。



「宮崎レコード音楽愛好会」のみなさん



真空管アンプ



レコードプレーヤー

『春のレコードコンサート ～県立図書館コレクション 名曲の数々vol.3～』

日 時：平成28年3月13日（日） 13：00～15：00
会 場：宮崎県立図書館 2階 研修ホール
そ の 他：入場無料、申込み不要（100席）、途中入退室可
お問合せ先：宮崎県立図書館 総務・企画課 普及支援担当 電話 0985-29-2956

お待ちしております！





健康情報サービスをご利用ください。

●医療情報コーナー（閲覧室内）

闘病記文庫

閲覧室南側に、闘病記を集めたコーナーを設けています。いろいろな方の実体験を通して、知りたい病気について学ぶことができます。最近では、ブログなどをおしてリアルタイムで、知らない方の闘病の記録を見る機会も増えてきましたが、じっくり読みたい方には、やはり図書の方がおすすめです。

※ こちらのコーナーでは、「そううつ病」「アルツハイマー病」「子宮がん」・・・など、病気ごとに配架しています。

健康情報専用のパソコン設置

闘病記文庫のすぐ横に健康情報専用のパソコンを一台設置しています。健康情報リンク集からさまざまな情報源にアクセスすることができますので、健康情報関係の調べものに最適です。



闘病記文庫（閲覧室内）

●宮崎県看護協会との連携

まちの保健室 ～事前予約は不要です～

日 時：毎週土曜日10時～16時（平成28年4月からは毎週土曜日12時～16時）

場 所：閲覧室入り口のギャラリー

宮崎県看護協会は、県内各所で「まちの保健室」を実施していて、県立図書館でも開催しています。

「今日の血圧はどうかしら？」「最近、体調が気になる」「親の介護はどうすればいいんだろう？」など、さまざまな健康上の問題やこころの不調についての相談に保健師が応じています。

※ プライバシーに配慮していますので、お気軽にお越しください。



「みやざきの言の葉」語り部養成講座終了！

本県は言語文化の宝庫であり、宮崎に伝わる神話・伝承等、本県の価値ある言語文化を県民総ぐるみで次世代に語り継ぐ活動を推進しています。県立図書館では『次世代につなぐ「みやざきの言の葉」継承事業』を行っており、去る11月、その中の「みやざきの言の葉」語り部養成講座が終了いたしました。その際、全講座を受講された参加者17名に対し、語り部認定証を授与いたしました。また、今回一定回数受講された方は、語り部として登録していただきました。今後、各地域において活躍できるよう支援してまいります。



古代衣装を身にまとった講師による講義



企画展「英雄伝と偉人伝－書物が語る人物－」

開催期間：平成28年1月26日（火）～平成28年3月13日（日）

※休館日：祝日以外の毎週月曜日、2月15日～22日

会 場：県立図書館2階 特別展示室

※開室時間：9時～17時

県立図書館が貴重書として管理している古典籍の中から、「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康」の時代に焦点を当て、同時代に生きた南九州の大名である「伊東義祐・島津義弘」に関する史料を展示公開しています。歴史上の人物について、書物が何をどのように後世に伝えてきたかを見ることができる展示です。是非、ご覧ください。



館蔵資料紹介① 「加江田村図」(『嶮南文庫』明治初年)

嶮南文庫には村絵図、城絵図、古戦場図、港湾図など70点を超える多様な絵図が含まれています。これらの絵図は、平部嶮南が『日向地誌』の編さんに関わり収集したものと考えられています。今回御紹介する「加江田村図」もその中の1点です。

加江田地区は現在は宮崎市の一部となっていますが、当時は那珂郡に属し、同郡の鏡洲村ほか3つの村と宮崎郡の木原村に接していました。同絵図の中には数多くの字名等が見えますが、注目したい字名に「元伊勢」と「仮神」があります(絵図中の赤四角囲み)。これは寛文2(1662)年の旧暦9月に起きた外所地震で被災した加江田神社の旧社地に残る地名です。地震により同社の社有地が海に没したため、一時この場所に仮社を建てて祀り、その後、北北西に約1kmほど離れた現在の丘陵上に遷座されました(絵図中の赤丸囲み、下段左に部分拡大)。

現在、この「元伊勢」の地に往時を物語る痕跡は何も残ってはいませんが、地元の方々の御尽力により、歴史を伝える大切な土地の記憶が風化しないよう標柱と説明板が設置されています。

【参考文献】

『日向地誌』平部嶮南 青潮社 1976年

『宮崎県大百科事典』宮崎日日新聞社 1983年



加江田村図 (165.3cm × 70cm)



「元伊勢」の地に設置された標柱と説明板
左) 絵図に見える「元伊勢」と「仮神」の字名

館蔵資料紹介② 「佐土原藩領図」(『佐土原藩島津家文書』寛文7年[1667])

県立図書館には、江戸時代前期の寛文七年(1667)に作成された佐土原藩の領内の様子を記した地図(「佐土原藩領図」)が収蔵されていますが、資料の大きさは縦191cm、横89cmもあり、領内の地形を詳細に記しています(右図参照)。

地図の内容全てを紹介することはできませんので、領内の河川にしばって紹介します。「佐土原藩領図」で大きく描かれている川は一ツ瀬川と石崎川ですが、この両河川に関して地図中に次の説明がなされています。

まずは一ツ瀬川ですが、「徳之渚之湊、潮時ニヨリ船出入不自由、南風之時船掛要シ、是ヨリ赤江之湊迄船路四里、此川口ヨリ一ツ瀬迄塩入一里十五町」とあり、意識すると「徳ヶ渚(現:宮崎市佐土原町)の港は、潮の状態によっては船の出入りが難しく、とくに南風の時は船を岸につなぎとめる必要がある。ここから(大淀川の)赤江の港までは船で4里(約16km)である。この川の河口から(上流に向かって)1里15町(約5.5km)までは海水が遡る」となります。なお地図中には「一ツ瀬河歩渡、廣一町」との記述もあることから、人が川を渡る時は、現在の一ツ瀬大橋(県道44号線)の少し下流あたりで、川岸から向こう岸まで幅(廣さ)約100m(一町)の浅瀬を歩いていたことが判明します。

一方の石崎川に関しては、「廣瀬行船出入無之、満潮之時歩渡不自由」とあることから、石崎村と広瀬村の間を行き来する船は無く、海が満潮の時は歩いて渡ることができないので不自由であったと記されています。

このように両河川とも、江戸時代前期には歩いて渡るしか交通手段は無かったようで当時の人々の苦勞がしのべれます。

【参考文献】『宮崎県の地名』平凡社 1997年





新着図書案内

■ 新制度スタートの不安や疑問に対応します



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。
宮崎県

『企業・団体のためのマイナンバー制度への実務対応』

影島広泰 著 (清文社)

内容紹介

平成28年1月から、マイナンバーの利用が開始されるが、本書はこの新制度について、企業の各部門担当者として準備・対応すべき実務、スケジュールや手順、情報管理におけるリスクや責任、罰則等について、できるかぎり具体的な帳票類や規程例をケーススタディ等で示しながら、網羅的にわかりやすく解説。
(日販マークより)



『日本一やさしいマイナンバー制度の学校』

中村俊之 監修 (ナツメ社)

内容紹介

2016年1月本格運用。あなたの会社は大丈夫？理解度・対応度をチェックしながらキッチリ対策！基礎知識、従業員対応、漏えい対策、管理システム。マンガで企業やお店のマイナンバー対応がわかる！
(日販マークより)



～関連図書～

『従業員100人以下の中小企業事業者のためのマイナンバー対応』

小野順・西岡葉子 共著 (税務研究出版局)

『最新知りたいことがパッとわかる社会保険と労働保険の届け出・手続きができる本』

吉田秀子 著 (ソーテック社)

『マイナンバー制度の実務ポイント』

宮本雄司・青木丈 共著 (清文社)

● 図書館利用マナーアップのお願い

みんなが気持ちよく利用できるよう、皆様のご協力をお願いします。

かえすところ

- 返却期限は守りましょう！ (新たな貸出ができない場合があります。)
- 図書館資料は大切に！ (資料を汚損・破損・紛失した場合は、弁償していただくことがあります。)
- 読み終えた本はもとの場所に！ (場所がわからないときはカウンター職員までお願いします。)
- 館内ではお静かに！ (他の人の迷惑になります。)
- 飲食は禁止です！ (2階「みどりの談話室」をご利用ください。)
- 携帯電話は禁止です！ (電源を切るか、マナーモードに。通話は閲覧室や児童図書室の外でお願いします。)
- 写真撮影は禁止です！ (閲覧室や児童図書室の中では撮影できません。)



ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
 ■児童図書室：9:00～17:00

休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日)
 年末年始：12/29～1/4

編集・発行

● 宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
 TEL ■0985-29-2911 (総務・企画課)
 FAX ■0985-29-2491 (総務・企画課)
 HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp>
 携帯アドレス ■http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm

